

県央地区フォーラム

共 催：潟上市教育委員会

開催日：平成24年11月20日(火)

会 場：秋田県総合教育センター講堂

講演 「釜石市のいのちの教育」～行政・地域・学校による津波・防災教育～



釜石市教育委員会
教育長 川崎一弘 氏

釜石に住むことは津波に備えることは当たり前。その中で、自分と相手、全ての命を大切にし相手を尊重する心を育てたい。

- 1 被害の概要
 - ・湾によって異なる津波の高さ
 - ・想定外の被害
- 2 釜石市の防災教育「紡ぐ」
 - ・動く津波ハザードマップ
 - ・自主防災リーダーや教員の研修
 - ・子供津波避難の家設置
 - ・行政・市民・専門機関での協働で子どもの安全確保
- 3 津波防災教育プログラム
 - ・各校の実情や教育課程内のできる発達段階に応じた津波防災授業
 - ・正しく知る
 - ・率先避難者たれ
 - ・おもんばかりの心で助けられる人から助ける人へ

被災地視察報告



外旭川幼稚園
副園長 村上文子 氏

普段から避難場所・避難経路を確認し使っておき、いつでも職員が誰でも同じ避難ができるようにする。常日頃から園児には命の大切さ・たくましく生きる力を養い地域とは連携を大切にしていこう。

- 1 気仙沼市立平田幼稚園の視察から
 - ・ライフライン寸断時の情報確保と情報発信
 - ・心の教育の重要性
 - ・高台へ逃げる訓練の繰り返し
 - ・普段からの地域との信頼関係の構築
 - ・非常時物品の準備
- 2 気仙沼市立大谷幼稚園の視察から
 - ・防災メール配信システム導入検討
 - ・避難後対応検討（園児保護、保護者への連絡手段）

パネルディスカッション 「学校における防災教育と地域連携の在り方」



コーディネーター 秋田大学地域創生センター
准教授 水田 敏彦 氏



一生に一度経験するかどうかの被災経験を直視し、次の世代に教訓を伝えるのが我々の役目。記憶を風化させないように行動しなければならない。一つ一つ行動し、継続していくことが重要。

パネラー 潟上市立出戸小学校
校長 六郷 博志 氏



子どもの危険対応力育成のためには学校だけでは困難で役割分担が重要。避難場所準備のための分担。

- ・ 出戸小での取組と地域連携の重要性
- ・ 職員とPTAによる避難場所想定研修、隣接する保育園との避難訓練

パネラー 秋田県高等学校PTA連合会



顧問 佐々木克巳 氏

- ・ 家庭での防災意識づけ
- ・ PTA役員としての学校への協力
- ・ 地域や学校への要望

一番の防災は、地域の人・企業との関わりを深め、お互いを知ること。防災にも地域おこしにも結びついていく。

パネラー 潟上市飯田川羽立神明自主防災会
会長 伊藤 義弘 氏
・ 大震災時は地域の見回りと食料配布実施



想定災害別に自主防災会の設置を。基本的には「自分達の地域は自分達で守ろう」の姿勢ですが、地域の雰囲気では行政主導を望んでいるようにも思われます。



パネラー 秋田市消防本部
土崎消防署警防主席主査
宇佐美晃一 氏
・ 学校や地域との連携について
・ 大震災時の活動内容

消防・警察・自衛隊による支援は時間がかかるので、初期段階での共助（近所同士の助け合い、自分の町は自分で守る）をがんばって欲しい。